中部地方

名前

問1　日本の茶の主産地では、4月上旬頃の気象条件に合わせて「防霜ファン」を稼働させることがあります。この設備が稼働する背景となる自然現象と、その仕組みについて説明した文として正しいものを選びなさい。 （2022年 群馬県公立入試 類似）

1. 夏場の強い日差しによる土壌の乾燥を防ぐため、風を送ることで地中の水分を効率よく吸い上げさせる。
2. 春先に発生しやすい濃霧が日照を妨げるため、扇風機の風で霧を散らして茶の芽の成長を促進させる。
3. 梅雨時期の高温多湿な環境で発生する病原菌を抑えるため、風を送り続けて茶の葉の表面を乾燥させる。
4. 晴れた夜間に発生しやすい放射冷却によって地表付近の温度が下がるため、上空の暖かい空気を循環させて凍結を防ぐ。

問2　新潟県沖の日本海に位置し、中央部に山地と平野が広がる島では、地域の歴史や自然環境を活かした取り組みが盛んです。かつて金や銀が採掘された鉱山跡の歴史遺産として世界文化遺産登録を目指すとともに、農業において「朱鷺（とき）と暮らす郷」といった独自の名称を持つ米の生産に力を入れている島はどこですか。 （2019年 東京都公立入試 類似）

1. 佐渡島
2. 淡路島
3. 対馬
4. 隠岐諸島

問3　長野県の観光施設への訪問者数に関する統計において、東京都や京都府、沖縄県と比較した際の長野県の特徴として最も適切な説明を選びなさい。なお、この統計において長野県は「山・高原」の訪問者が1,000万人を超えており、「温泉」や「歴史・文化」の項目も高い数値を記録していますが、「ショッピングなどの都市型観光」の割合は他の都県に比べて低くなっています。 （2017年 岩手県公立入試 類似）

1. 巨大なショッピングモールやテーマパークを中心とした都市型のレクリエーション施設が、観光客を集める最大の要因となっている。
2. 最新の科学技術を展示するパビリオンや、大規模な国際会議場などのビジネス拠点としての施設が観光の中心となっている。
3. 豊かな自然景観や温泉、スキー場といったスポーツ施設に加え、歴史的な寺社や城跡などの文化遺産が主要な観光資源となっている。
4. 温暖な気候と広大な海岸線を活かしたマリンレジャーが盛んであり、冬場の集客よりも夏場の観光客数が圧倒的に多い。

問4　中部地方の山岳地帯を源流とし、長野県、岐阜県、愛知県の3県をまたいで流れ、最終的に太平洋の一部である伊勢湾に注ぐ河川はどれですか。 （2025年 京都府公立入試 類似）

1. 木曽川
2. 黒部川
3. 北上川
4. 十勝川

問5　日本の中部地方の内陸部、特に周囲を高い山々に囲まれた盆地状の地域では、山地が壁となることで季節風の影響を受けにくく、年間の降水量が少なくなる傾向があります。このような地域において、不足しがちな農業用水を確保する目的で古くから作られてきた人工的な池を何と呼びますか。 （2026年 愛媛県公立入試 類似）

1. 砂防ダム
2. ため池
3. 地下水路
4. 遊水地

問6　ある県の人口統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり4638.4人と突出して高く、昼夜間人口比率も104.4%と100%を上回っています。また、2000年から2020年にかけて人口が約3万3千人増加している場合、この地域の人口動態に関する記述として正しいものを選びなさい。 （2025年 福岡県公立入試 類似）

1. 山間部を中心とした過疎化が深刻な課題となっており、若年層の流出によって夜間の人口密度が低下している
2. 中心都市に経済や教育の機能が集中しており、昼間の活動人口が夜間の居住人口よりも多い状態にある
3. 広大な農地を活かした第1次産業が中心であり、他地域からの人口流入はほとんど見られない
4. いわゆる「ベッドタウン」としての性質が極めて強く、昼間は多くの住人が近隣の他県へ通勤・通学している

問7　ある都道府県の産業について、農業産出額では米の産出額に比べて野菜の産出額が約三倍と高く、イチゴなどの栽培が盛んである一方、製造品出荷額等が約17兆円にのぼり、工業が極めて盛んであるという特色を持つ県を選んでください。 （2022年 岡山県公立入試 類似）

1. 静岡県
2. 北海道
3. 宮崎県
4. 新潟県

問8　山梨県上野原市付近の地形において、標高が高くなっていく斜面の中腹に位置する地点から、南側の桂川が流れる方向を眺めた際に確認できる景観の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 （2019年 東京都公立入試 類似）

1. 崖のすぐ下を通る道路と、それを取り囲む密集した住宅地
2. 桂川に架かる桂川橋と、その付近を走る鉄道の線路
3. 国道20号が複雑に交差する大規模な交差点と商業施設
4. さらに北側へ続く急峻な山々と、その頂上にある展望台

問9　太平洋側の地点から日本海側の地点まで、中部地方を横断するように直線を引いた際の標高の変化を説明した文章として、正しいものはどれですか。資料としての地形断面図の特徴を踏まえて答えなさい。 （2023年 石川県公立入試 類似）

1. 海岸線付近の海抜ゼロメートル地帯から内陸に向かって標高が急激に上昇し、赤石山脈など一千メートルを超える険しい山地を通過した後、再び日本海側へ向かって下降する。
2. 太平洋側の海岸部から内陸の県境付近まで標高が一定の割合で上がり続け、日本海側の海岸線に到達した地点で最も標高が高くなる。
3. 太平洋側から日本海側まで大規模な盆地や平坦な扇状地が連続しているため、断面図の大部分において標高の変化がほとんど見られない。
4. 内陸部に広大な平野が広がっているため、標高は一時的に上昇するものの、断面図の半分以上の区間で標高が二百メートル以下に保たれる。

問10　日本有数の茶の産地である静岡県と鹿児島県の統計において、栽培面積に対する乗用型大型機械の導入割合を比較すると、静岡県の約6割に対し、鹿児島県は約9.5割と非常に高くなっています。このように茶の収穫に乗用型大型機械を積極的に導入する最大の目的として、最も適切なものはどれですか。 （2020年 広島県公立入試 類似）

1. 少ない労働力で効率よく生産を可能にすること
2. 手作業による摘み取りを行い、茶葉の品質を極限まで高めること
3. 熟練した労働者を多く雇用し、地域の雇用機会を創出すること
4. 1ヘクタールあたりの収穫量である土地生産性を最大化すること

問11　中部地方のある県では、総面積が約6,708km²であるのに対し、人口の著しい減少により地域社会の維持が困難とみなされる「過疎地域」の面積が約5,731km²に達しています。また、全人口約717,000人のうち、65歳以上の高齢者人口が20万人（約29%）を超えています。これらの統計から読み取れる、この県の現状として最も適切な説明はどれですか。 （2015年 千葉県公立入試 類似）

1. 人口が70万人を超えているため、1km²あたりの人口密度は中部地方の他県より高い。
2. 過疎地域の面積が、県全体の面積の約85%という極めて高い割合を占めている。
3. 高齢者人口の割合が全人口の3割に近いため、若年層の人口が過疎地域に流入している。
4. 過疎地域の面積は、過疎地域に指定されていない面積よりも小さくなっている。

問12　長野県の八ヶ岳山麓などの標高が高い地域では、夏でも涼しい気候を利用してレタスやキャベツなどの生産が行われています。このように、平地での収穫・出荷が終わった後に市場へ野菜を出荷する栽培方法を何といいますか。 （2023年 岐阜県公立入試 類似）

1. 抑制栽培
2. 二毛作
3. 促成栽培
4. 近郊農業

答え合わせ・解説

問1	答え 4 晴れた夜間に発生しやすい放射冷却によって地表付近の温度が下がるため、上空の暖かい空気を循環させて凍結を防ぐ。	茶の産地において、春先の気温低下は「晩霜（ばんそう）被害」として恐れられています。特に雲のない晴れた夜間は放射冷却が強まり、地表付近の温度が氷点下近くまで下がることがあります。このとき、地上6〜8メートル付近には地表よりも数度高い温度の空気層（逆転層）ができるため、防霜ファンでその暖かい空気を地表に送り込むことで、デリケートな新芽が凍りつくのを防いでいます。
問2	答え 1 佐渡島	新潟県に属する佐渡島は、江戸時代に幕府の財政を支えた日本最大級の金銀山があり、その遺構を観光資源として活用しています。また、絶滅危惧種であるトキの野生復帰を支援するため、農薬を減らすなど環境に配慮した農法で栽培される銘柄米（ブランド米）の生産が全国的に知られています。
問3	答え 3 豊かな自然景観や温泉、スキー場といったスポーツ施設に加え、歴史的な寺社や城跡などの文化遺産が主要な観光資源となっている。	長野県は日本アルプスに代表される険しい山岳地帯に位置しており、その地形を活かした「山・高原」でのレジャーや、冬の積雪を利用した「スキー場」が大きな強みです。また、火山地帯であることから「温泉」が豊富であり、善光寺や松本城といった「歴史的な寺社や城跡」も併せ持っています。一方で、東京のような大規模な商業施設が集中する都市型観光の比重は相対的に低いのが特徴です。
問4	答え 1 木曽川	中部地方の険しい山間部から流れ出るこの河川は、下流部に広大な濃尾平野を形成し、古くから農業や生活用水として利用されてきました。選択肢にある北上川は東北地方、黒部川は富山県、十勝川は北海道を流れる河川であり、流路や注ぐ海が異なります。
問5	答え 2 ため池	中部地方の中央高地は、高い山々に囲まれているために湿った季節風が遮られ、全国的に見ても雨や雪が少ない地域です。そのため、古くから雨水などを貯めておく「ため池」を築くことで、稲作などの農業に必要な水を安定して供給できるように工夫されてきました。
問6	答え 2 中心都市に経済や教育の機能が集中しており、昼間の活動人口が夜間の居住人口よりも多い状態にある	高い人口密度と100%を超える昼夜間人口比率は、その地域が広域的な中心地であることを示しています。愛知県のように、製造業や商業が盛んな拠点都市を持つ地域では、雇用機会を求めて周辺から人が集まるため、昼間の人口が増加します。また、人口が増加しているというデータは、その地域の経済活動が活発であり、居住地としての需要も高いことを裏付けています。
問7	答え 1 静岡県	この県は太平洋側に位置し、温暖な気候を利用した野菜の栽培が盛んで、農業産出額では米よりも野菜の割合が高いことが特徴です。また、輸送用機械などの工業が発達しており、製造品出荷額が非常に大きく、海上や航空による貨物輸送量も多いことから、日本屈指の工業県としての側面を持っています。
問8	答え 2 桂川に架かる桂川橋と、その付近を走る鉄道の線路	地形図の読解において、等高線の間隔から斜面の傾きや展望を推測することが重要です。この地点は北に向かって標高が上がる斜面の中腹にあるため、南側には視界が開けています。その先にある桂川には橋の記号（桂川橋）があり、さらに鉄道が通っているため、これらを一望できる景観となります。崖下の道路や国道の交差点は、この地点からの主要な遠望対象とは異なります。
問9	答え 1 海岸線付近の海抜ゼロメートル地帯から内陸に向かって標高が急激に上昇し、赤石山脈など一千メートルを超える険しい山地を通過した後、再び日本海側へ向かって下降する。	中部地方の中央部には「日本の屋根」とも称される飛騨・木曽・赤石の3つの山脈（日本アルプス）が南北に走っています。これらを横断するルートの地形断面図を作成すると、海岸から一気に標高が上がり、3000メートル級の山々を含む高峻な地形を示すのが特徴です。選択肢にある赤石山脈は南アルプスとも呼ばれ、この地域を象徴する山脈の一つです。
問10	答え 1 少ない労働力で効率よく生産を可能にすること	鹿児島県では、シラス台地などの広大で平坦な土地条件を活かして、大規模な茶園の整備が進められてきました。こうした土地に乗用型の大型機械を導入することで、人手不足という課題を解決し、短時間で大量の茶を収穫できる効率的な生産体制を構築しています。これにより、低コストで安定した生産が可能になっています。
問11	答え 2 過疎地域の面積が、県全体の面積の約85%という極めて高い割合を占めている。	総面積6,708km²に対して過疎地域が5,731km²あることから、計算すると県全体の8割以上（約85%）が過疎地域に該当することがわかります。この数値は、県土の大部分で人口減少が進み、地域維持が課題となっていることを示しています。高齢者人口が約29%に達していることも、少子高齢化による過疎化を裏付けるデータです。他の選択肢については、過疎地域以外の面積の方が小さいことや、高齢化率が高い状況で若年層が流入しているという判断は誤りです。
問12	答え 1 抑制栽培	標高の高い地域は夏でも気温が上がりにくいため、平地では暑すぎて栽培が難しい時期にレタスなどの高原野菜を育てることができます。このように自然環境を活かして意図的に収穫時期を遅らせる方法は「抑制（よくせい）」と呼ばれ、他の産地との競合を避ける工夫として重要です。